
恋心

桜咲 優莉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋心

【Nコード】

N8592N

【作者名】

桜咲 優莉

【あらすじ】

彼女はある日恋心を見つけた。これは筆者の勝手な恋心の考えを書いた物語。

ある日、彼女は恋心を見つけた。

誰にも明かさず、大切に大切に育てた。

最初はともちっぽけで、今にも消えてしまいそうだった。

あの日見つけた恋心は、

月日経つうちにどんどん大きくなっていった。

けどその恋心は粉々に砕け散ってしまった。

「俺、七島が好きなんだ」

彼の明かした想い人は彼女の親友だった。
彼女はただ応援するしかなかった。

—— 彼女はその日、粉々に砕け散って

—— 欠片になった恋心を埋めた。 ——

—— 一欠片も残さないように ——

彼の相談に乗るようになった彼女の心は
小さな小さな悲鳴を上げた。

—— 恋心はすべて埋めたつもりだった。 ——

—— だけど彼女の心の中には

—— とても小さな一欠片の恋心が残っていた。

—— たった一欠片の恋心は彼女を苦しめた。 ——

彼女の心の悲鳴はどんどんと大きくなり、
修復が出来なくなってしまった。

彼女の心は壊れてしまったのだ。

ただ彼女はその素振りを少しも見せなかった。

彼女の心が壊れてから約半年。

彼と彼女の親友が付き合う事になった。

二人は一番初めに彼女に報告した。
彼女の想いなど知らずに。

彼女は二人の前でずっと笑顔でいた。

なんども「おめでとう」と言った。

彼女は家に帰って泣いた。

静かに声も上げずに泣いた。

彼女の想いなど誰も気づかなかった。

——彼女の心の中も涙が流れていた。——

——そして、やっと彼女の心の中にあつた

一欠片の恋心が涙と共に流れていった。
——

次の日、彼女の顔はとても穏やかだった。

なぜならあれだけ彼女を苦しめた
一欠片の恋心が無くなったのだから。

そして月日が経ち、
彼女の心が治ってきたころ

—— 彼女はまた恋心を見つけた。 ——

彼女は今度こそ幸せな恋をする事となる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8592n/>

恋心

2010年10月10日08時10分発行